

# 調査・研修等計画届出書

令和4年9月30日

瀬戸市議会議長 様

議員名 池田 信子

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和4年10月12日から 10月14日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	第84回 全国都市問題会議 個性を活かして『選ばれる』まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～（長崎市）	
会場名（会場所在地）	出島メッセ長崎 〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1 TEL:095-801-0530	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<p>観光都市としての発展は本市においても課題であり、今後も継続的に果敢に挑戦していくことが、1000余年の陶磁器の歴史と伝統のある、日本遺産認定を受けた本市の使命であると考えます。</p> <p>今回の全国都市問題会議のタイトルにもあるように、自治体の個性を活かした観光地として、瀬戸市に何度も何度も訪れていただける「瀬戸のファン」を継続的に増やしていけるよう、長崎市の先進的な取組みを学んでまいります。</p> <p>長く続くコロナウイルス感染症との戦いを払拭できるよう、さらに、勢いある政策等を提案していけるよう、問題意識を持って参加してまいります。</p>	
議長名の依頼	要・ <input type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	長江秀幸、三宅 聡	

※行程表を添付してください。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況等によっては、中止する場合があります。

## 第84回全国都市問題会議開催要領

1. 主催 全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、  
長崎市  
協賛 (公財)全国市長会館

2. 開催期日 令和4年10月13日(木)、14日(金)

3. 会場 出島メッセ長崎 (JR長崎駅西口前)

4. 議題 個性を活かして『選ばれる』まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～

### 5. 日程

第1日 10月13日(木)

- 9:30 開会式  
9:50 基調講演 ㈱ジャパネットHD代表取締役社長兼CEO 高田 旭 人 氏  
11:00 主報告 長崎県長崎市長 田 上 富 久 氏  
12:10 (昼食)  
13:30 一般報告 島根県立大学地域政策学部准教授 田 中 輝 美 氏  
14:30 (休憩)  
14:50 一般報告 山形県山形市長 佐 藤 孝 弘 氏  
15:50 一般報告 (一社)地域力創造デザインセンター代表理事 高 尾 忠 志 氏  
17:00 (終了)

第2日 10月14日(金)

- 9:30 パネルディスカッション  
[コーディネーター]  
東京都立大学法学部教授 大 杉 覚 氏  
[パネリスト]  
ゆとり研究所所長 野 口 智 子 氏  
山梨大学生命環境学部教授 田 中 敦 氏  
NPO法人長崎コンプラドール理事長 桐 野 耕 一 氏  
岐阜県飛騨市長 都 竹 淳 也 氏  
兵庫県伊丹市長 藤 原 保 幸 氏

11:50 閉会式

12:00 閉会后、行政視察【希望者のみ(有料)】

# 行程表

乗り換え案内シヨルダン <http://www.jordan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	円	特急料金等
R4 年 10 月 12 日	瀬戸市役所前	名鉄	片道	大曽根	14.8	km	410	円	円
	大曽根	JR	片道	金山	6.5	km	200	円	円
	金山	名鉄	片道	中部国際空港	35.7	km	830	円	円
	中部国際空港	飛行機	片道	長崎空港	661	km	22,189	円	円
	長崎空港	バス	片道	長崎新地ターミナル		km	1,000	円	円
					TEL		宿泊料金		
ホテルモンテレ長崎					095-827-7111		14,000 円		
備考欄									

38,629 円

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	円	特急料金等
R4 年 10 月 13 日 14 日	出島(10/13)	バス	往復	長崎		km	280	円	円
	出島(10/14)	バス	片道	長崎		km	140	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
ホテルモンテレ長崎					095-827-7111		14,000 円		
備考欄									

小計 14,420 円

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	円	特急料金等
R4 年 10 月 14 日	長崎	新幹線	片道	武雄温泉	69.6	km	12,760	円	3,190 円
	武雄温泉	新幹線	片道	博多	81.9	km		円	円
	博多	新幹線	片道	名古屋	808.9	km		円	7,560 円
	名古屋	JR	片道	大曽根	9.8	km		円	円
	大曽根	名鉄	片道	瀬戸市役所駅前	14.8	km	410	円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

バック等による割引など

小計 23,920 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

28,000 円

48,969 円

申請額合計  
(宿泊費+交通費-割引代)

76,969 円

# 調査・研修等報告書

令和 4年 10月 24日

瀬戸市議会議長 様

議員名 池田 信子

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和4年10月12日から 10月14日まで（2泊3日）
調査先・研修名	第84回 全国都市問題会議 個性を活かして『選ばれる』まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～（長崎市）
会場名（会場所在地）	出島メッセ長崎 〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1 TEL:095-801-0530
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<p>観光都市としての発展は本市においても課題であり、今後も継続的に果敢に挑戦していくことが、1000余年の陶磁器の歴史と伝統のある、日本遺産認定を受けた本市の使命であると考えます。</p> <p>今回の全国都市問題会議のタイトルにもあるように、自治体の個性を活かした観光地として、瀬戸市に何度も何度も訪れていただける「瀬戸のファン」を継続的に増やしていけるよう、長崎市の先進的な取組みを学んでまいります。</p> <p>長く続くコロナウイルス感染症との戦いを払拭できるよう、さらに、勢いある政策等を提案していけるよう、問題意識を持って参加してまいります。</p>

## <全国都市問題会議 1日目>

### 【基調講演】

・株式会社ジャパンホールディング代表取締役社長兼 CEO 高田旭人氏の「民間主導の地域創生の重要性」では、特にジャパネットの事業方針「見つける・磨く・伝える」とともに、民間企業の役割は「幸福の最大化」であり、「公平性に左右されない民間企業だからこそ行政にはできない思い切った取り組みをする必要がある」「人が動いて幸せは作られる」との理念を、海外の様々な視察を通して、良いものをとことん追い求めていることを体現されているところです。民間主導の地域創生に今後も期待していきたいと大変に感銘を受けました。地方創生に企業が一緒に行ったらうまくいき、地方を盛り上げ、日本全国を盛り上げていくとの若い（43歳）のワクワクする講演でした。

### 【主報告】

・長崎県長崎市 田上富久市長の「長崎市の魅力あるまちづくり」では「OSを変えていこう」との言葉が印象的で、元市職員（観光事業に携わる）の強みと、長崎学の創始者古賀二郎先生の言葉を大切に理念としたブレない現場第一主義とともに、市民と一緒に政を前進させていこうとする情熱に感銘を受けました。中でも「わがまちの価値を見つける、気づく、磨く、生み出す」という、弛みない地道な取り組みと「長崎市景観専門監の起用」という新たな「景観まちづくり」の取り組みを成功させているところが素晴らしく、会議で紹介された事例「恐竜への着目と発掘への執念」や「眼鏡橋のライトアップ」「駅のデザインの自治」という考えから西九州新幹線駅ホームのデザインも新しく斬新に終点駅の駅舎から港が駅ホームから見える仕掛けなど、現場を直接視察でき肌で感じてまいりました。こうした長崎市の取り組みを参考にしていくことは大変に有効であると感じます。

### 【一般報告】

・鳥取県立大学地域経済政策学部 田中輝美准教授の「地域との新しい関わり方・関係人口」では、「人口をシェアしよう」「お金より繋がり」との若い世代の考え方の変化の視点です。定住や移住という考え方から「関係人口」という考え方があることをわかりやすく理解することができました。

・山形県山形市 佐藤孝弘市長の「ビジョンを活かしたまちづくり～選ばれる山形市を目指して～」では、ビジョンを政策と一本化するという事。さらに、職員研修や未来創造会議を通して、まちのビジョンの共有、将来ビジョンを共通言語としていくことが重要であることを学びました。

・一般社団法人地域力創造デザインセンター 高雄忠志代表理事の「交流の産業化を支える景観まちづくり～長崎市景観専門監の取り組み～」では、「高次の欲求」という視点とともに「プロセスデザイン」「まちをデザインしていくことも自治」という、今までになかった「景観専門監」を提案し、実行した長崎市長の先見性の凄さも感じました。その効果が結果として観光地としてのまちの魅力に繋がっているという報告でしたので、新たに夜景ライトアップされた眼鏡橋を実際に見て、魅力アップが実感できました。

## <全国都市問題会議 2日目>

### 【パネルディスカッション】

・ファシリテーターの東京都立大学法学部 大杉覚教授から、基調講演を通して「人が動いて幸せが作られる」という問題定義がされました。それを受け5人のパネリストが登壇し、それぞれの活動報告、意見交換、質疑応答が活発に行われました。

・ゆとり研究所 野口智子所長の「人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ～雲仙人プロジェクトの試み～」では、今、人は妙に分断されていて、全国には様々な成功事例もありますが、実際にはそんなに簡単なことではなく、その地域に住む人の人材育成であり一人一人が育っていくが大事。地域の人たちのことを知っているようで知らないのが現実であり、もっと地域のことを知っていくことで取り組みは掛け算になります。人と人で磨くことから幸せづくりにコミットするとの報告がありました。

・山梨大学生命環境学部 地域社会システム学科 田中敦教授の「ワーケーションの意味の拡張と異変」では、政府が本格的に「ワーケーション」の推進を宣言して2年が経過するが、実際は日本型ワーケーションがなかなか進まない現状に触れ、企業の課題もあるとの分析の報告がありました。

・NPO 法人長崎コンプラドール 桐野耕一理事長の「人は人に会いに行く！～まち歩きで見つけた“まちのつくり方”～」では、2006年からスタートした「まち歩き」を通し、自分の住んでいるまち・わがまちの良さに気づき「気づきの交換」「小さな幸せ」を実感する「わがまち自慢」の素晴らしさが伝わる活動報告でした。

・岐阜県飛騨市 都竹淳也市長の「人口減少先進地の挑戦～ファンと共に取り組むまちづくり～」では、人口減少という課題こそが課題解決のキーワードである「人口減少先進地」と言い切るところが素晴らしいと思いました。困難な課題ばかりであっても飛騨市「ファンクラブ」や楽しさにあふれた関係案内所「ビタスケ」の活動を進め「関係人口」に繋がっているという活動報告でした。

・兵庫県伊丹市 藤原保幸市長の「清酒発祥の地・伊丹～酒と文化が薫るまち～」では、市長に就任した20年前、シビックプライド（市への誇り）を真剣に考え、埋もれていた「清酒の歴史」をクローズアップさせ地域の魅力としており、伊丹市の知名度を上げるための取り組みが成功しており素晴らしいと感じました。伊丹市出身者や縁のある人たちに応援してもらえるような努力と仕掛けなど、まちづくりは地道プラスPR戦略であるとの言葉通りの活動報告でした。

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

**【受講後の感想】**

・第84回全国都市問題会議2日間を通して、それぞれ地域課題は様々ありますが、そうした課題があるということが実は「宝」であり、その課題にどう向き合っていくのか、ということが地域の将来を拓いていくキーワードであり「財産・資源」であるということが、今回の報告全体を通して実感できました。

・今回の3自治体市長の報告を通して、市長の想いや政策が良くも悪くも自治体に大きく反映され現実を創っていて、だからこそ「ブレないビジョン・戦略」が本当に大事であると感じました。

・基調講演の魅力に圧巻されました。「日本中に幸せを届ける」との企業理念が素晴らしく、企業・自治体のそれぞれの役割を果たして共に栄えていけるよう、瀬戸市でも、こうした企業に期待したいと思いました。

調査・研修の成果・考察  
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

**【考察】**

・今回の全国都市問題会議のテーマは本市にとって、とても参考になる内容であったと思います。特に、「ジブリパーク」開園を契機として「となりのセトシ」としても、自治体の個性を活かした観光地として、この瀬戸市に何度も訪れていただける、立ち寄っていただける「瀬戸のファン」を継続的に増やしていけるヒントがたくさんあったように思います。中でも、「課題は宝」・「人材育成」・「関係人口」・「景観まちづくり」・「地道なPR戦略」・「企業との連携」など、今回の会議で学んだことを参考に、様々な場面で政策提案していきたいと思います。



## 公明党瀬戸市議団 第84回全国都市問題会議 研修行程表

**1 研修市及び目的** 個性を活かして『選ばれる』まちづくり（長崎市）

14:30集合

**2 日程** 10月12日（水）～10月14日（金）

※場所 瀬戸市役所前

	14:50発 15:15着 15:28発 15:36着 15:49発 16:33着 16:35発 16:40着 17:50発 瀬戸市役所前駅 — 大曾根駅 — 金山駅 — 中部国際空港駅 — 中部国際空港— 名鉄瀬戸線（410円） JR中央本線（200円） 名鉄名古屋本線（830円） 徒歩
<b>12日 （水）</b>	19:20着 19:40発 20:15着 20:17発 20:42着 — 長崎空港 ————— 長崎新地ターミナル — ホテルモントレ長崎 ANA373便（66569円3人分） 高速・連絡バス（1000円） 徒歩 <p style="text-align: right;">（宿泊）ホテルモントレ長崎（2泊） TEL 095-827-7111</p>
<b>13日 （木）</b>	8:36発 8:44着 8:46発 8:51着 8:53発 8:58着 ホテルモントレ長崎 — 出島 — 長崎駅前 — 出島メッセ長崎 徒歩 長崎電気軌道1系統（140円） 徒歩 9:30 開会式 9:50 基調講演 11:00 主報告 12:10 （昼食） 13:30 一般報告（休憩） 14:50 一般報告 15:50 一般報告 17:00 終了 17:11発 17:16着 17:18発 17:23着 17:25発 17:33着 出島メッセ長崎 — 長崎駅前 — 出島 — ホテルモントレ長崎 徒歩 長崎電気軌道1系統（140円） 徒歩

14日  
(金)

8:36発 8:44着 8:46発 8:51着 8:53発 8:58着  
ホテルモントレ長崎 —— 出島 —— 長崎駅前 —— 出島メッセ長崎  
徒歩 長崎電気軌道1系統(140円) 徒歩

9:30 パネルディスカッション  
11:50 閉会式  
12:00 終了

12:10発 12:14着 12:41発 13:12着 13:15発 14:14着 14:26発 17:47着 17:53発  
出島メッセ長崎 —— 長崎駅 —— 武雄温泉駅 —— 博多駅 —— 名古屋駅 ——  
徒歩 JR新幹線かもめ32号(円) JR特急みどり34号(円) JR新幹線のぞみ46号(円)

18:06着 18:16発 18:39着  
—— 大曾根駅 —— 瀬戸市役所前駅  
JR中央本線 名鉄瀬戸線(410円)